



平成 28 年 10 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社エスクロー・エージェント・ジャパン

代 表 者 名 代表取締役社長 本 間 英 明

(コード番号：6093 東証第一部)

問い合わせ先 取締役執行役員 太 田 昌 景
管理本部長

(TEL. 03-6703-0500)

業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

平成 28 年 6 月 17 日に公表致しました平成 29 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想値と本日公表の決算の実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想値と実績値の差異について

(1) 平成 29 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想値と実績値の差異

(平成 28 年 3 月 1 日～平成 28 年 8 月 31 日)

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1 株当り 四半期純利益
前回発表予想	1,165	230	230	145	35.45
実績	1,311	344	344	211	51.71
増減額	145	114	114	66	
増減率	12.5	49.7	49.6	46.0	
(参考) 前期実績	848	263	263	169	42.19

2. 差異の理由

当社グループの業績に影響を及ぼす住宅ローン市場においては、政府による住宅取得支援策や日本銀行のマイナス金利政策の影響により、住宅ローン金利の低下が顕著となり、ローン借換えを始めとした融資申込件数が増加傾向となっております。

このような状況の中、当社グループにおいては、金融機関からの有担保ローンにおける机上業務の受託件数が増加した結果、BPO事業が好調に推移しました。また、全国的な融資実行件数の増加に伴い、当社登録司法書士によるASPサービスを中心としたシステムサービス利用頻度が増加した結果、エスクローサービス事業が好調に推移しております。

その結果、第 2 四半期累計期間における売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては平成 28 年 6 月 17 日に公表しました業績予想の想定を上回る実績となったため、本日公表の実績値と差異が生じました。

なお、通期の業績予想につきましては、欧米諸国や中国の政治的影響による日本経済への影響や物価上昇を志向する政府政策等により、住宅ローン金利相場の先行きについて不透明感、不確定要素があることから、現時点では前回公表した業績予想を据え置いております。今後の業績動向を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示することといたします。

以 上